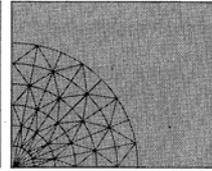


モノグラフ・高校生 '87

vol.22 文化祭



放送大学教授 深谷昌志

目次

要約	2
テーマ設定	4
第I章 文化祭はどうなっているか	6
1. 人気のあるプログラム	6
2. 教師たちの本心	11
3. 取り組みの姿勢	18
4. 文化祭のイメージ	23
第II章 プログラムを手がかりとして	26
1. 全体としての印象	26
2. 目についたプログラムの中から	29
第III章 実際の指導をめぐっての事例	46
資料1 '86年度文化祭一覧	72
資料2 調査票見本および集計表	90

※おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとは一切関係ありません。

要約

① この5年間の変化

展示がへり、バンド演奏がふえた(p. 7 図1)。

② 人気のあるプログラム

人気のあるベスト3はバンド演奏、喫茶店、バザー。人気のないのは、作品展示、研究発表、合唱である(p. 9 図2)。

③ 生徒の自主性にまかせたら

バンド演奏と喫茶店、スナックがふえ、研

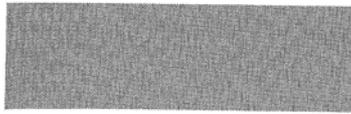
究発表、講演会、作品展示がへりそうだという(p. 11 図3)。

④ 教師としての気持ち

教師として、もっとさかんにしたいのは、研究発表、作品展示、講演会で、生徒の好きな種目と正反対の結果がみられる(p. 16 図4)。

⑤ テーマの決定

生徒たちが決め、それを教師が認める形をとっている場合が多い(p. 18 表11)。



⑥ 生徒の取り組み

全体として、熱心な生徒とそうでない者があいなかばしているが、進学校ほど熱心に取り組んでいる生徒が多い(p.21図7)。

⑦ 教師と生徒のどちらが意欲的か

半々というのが全体の傾向だが、進学校は生徒が積極的なのに対し、非進学校では教師が積極的に生徒をリードしている傾向がみられる(p.22図8)。

⑧ 文化祭のイメージ

秩序がとれ、明るく、にぎやかというイメージが持たれている(p.23図9)。

⑨ 文化祭の役割

父母や地域の人たちの学校に対する関心を高めるのに役立てたいが、それ以上に生徒たちの学校への帰属意識を強めていきたいという(p.25表16)。

〔調査概要〕

調査対象 ● 全国の高校

調査時期 ● 昭和62年2～3月

サンプル ● 全国の高校より約2分の1抽出で

2,412校を選び、調査票を送付

有効サンプル数345通

回収率14%

テーマ設定

モノグラフの調査を重ねていると、ともすると問題意識が先回りをして告発的なレポートを作りやすい。そうした自戒の気持ちから、分析対象に共感の気持ちを忘れないようにしている。

この高校生の調査でも、高校生らしさを描こうとさまざまなアプローチを重ねてきた。実をいうと、モノグラフの同人会は毎月一回の定例会を持つようにしている。そして例会では調査票を作ったり、分析結果を報告したりすると同時に、ブレイクストーミングの形で、高校生をめぐって雑談をするようにしている。

文化祭の話がでたのは、そうした機会だったような気がする。たまたま文化祭が終わった時だったので、出席していた先生が「放っておくとモギ店ばかりになってしまう。生徒たちの自主性を尊重したいと思うけれど、こんなにモギ店ばかりでは規制しなければならない」と話された。「私のところでは、迷路が流行して、手をやいています」「展示をさせようとしても、生徒たちがのってこない。なんだか私が展示をやらせているようで、こんなことはやめようかと思う」など、次々と文化祭についての苦労話がだされた。

モギ店や迷路はきちんとやるが、研究発表や劇、合唱などになるとシラけてしまう。生徒たちの軽さやおもしろ志向を否定するつもりはないが、文化祭は学校の行事だから、そ

れほど放任できない。

どうやら、素顔の高校生とやや堅苦しい学校文化とのギャップが、文化祭に圧縮されているように思えた。つまり、生徒の素顔を尊重すると、学校の行事といえなくなりそうだし、かといって、学校の論理を前面に出すと生徒の主体性が失われてしまう。

それだけに、学校としては生徒たちのなまの姿と学校の論理の間で、どちらを優先させるのかの選択に悩んでいるのであろう。

しかし、これまで文化祭を本格的に取り上げた研究は少ない。そこで、とりあえず文化祭についての全国調査を実施することにした。

具体的には、全国の高校5,491校の中から、約2分の1を抽出して2,412校を選び、調査票を配布し、それと同時に文化祭についての資料も送ってもらうことにした。

昭和62年3月までに、345通の調査票を回収することができた。回収率は14%である。なお、サンプル校の概観を表1に示した。普通科が96.1%、大学進学率が5割以上の学校が、8割以上の27.2%を含めて、56.5%に達したなど、高校の中ではやや進学校の比重が大きいかもしれない。それだけに、文化祭がスムーズに進んでいる学校の例が多く、本当の意味で苦労している事例が乏しいのかもしれない。そうした懸念が感じられるが、以下、文化祭の現状を概観することにした。

表1 サンプル校の概観

(数値は%)

A. 設置別

1. 国公立	2. 私立
79.0	21.0

B. 学科

1. 普通科	2. 工業科	3. 商業科	4. 農業科	5. その他
96.1	1.2	0.9	1.8	0.0

C. 男女別

1. 男女共学	2. 男女別学
78.7	21.3

D. 創立年

1. 明治	2. 大正	3. 昭和・終戦前	4. 昭和20～35年	5. 昭和36年以降
32.1	13.8	10.3	13.8	30.0

E. 全校のクラス数

1. 12クラス以下	2. 13～21クラス	3. 22～27クラス	4. 28クラス以上
9.1	22.7	29.8	38.4

F. 共通一次受験者の割合

1. 2割以下	2. 2～4割	3. 5～7割	4. 8割以上
46.6	24.8	16.9	11.7

G. 4年制大学への進学率

1. 2割以下	2. 2～4割	3. 5～7割	4. 8割以上
23.6	19.9	29.3	27.2

H. 就職者の割合

1. ほとんどいない	2. 2割以下	3. 2～4割	4. 5～7割	5. 8割以上
34.5	25.7	20.8	14.2	4.8

第 I 章 文化祭はどうなっているか



1. 人気のあるプログラム

まず、文化祭がこの4、5年の間に、どう変わってきたのかを図1(表2)に示した。お化け屋敷や迷路をやっていない学校が45.3%を占めているのは意外だったが、「やっていない」を除いて、「やっているもの」についての変化は、展示がへり、バンド演奏がふえたにつきるようであった。

そこで、実際に文化祭で行われている割合の多い16の種目を提示して、それらが人気があるかどうかをたずねてみた(表3)。図2は表3を図化したものだが、この中から3つのタイプを抽出するのが可能であろう。

① していないもの

模範演技(74.9%)、講演会(61.3%)、お

化け屋敷(50.3%)

② 人気のあるもの

バンド演奏(88.0%)、喫茶店(68.9%)、バザー(65.8%)。ただし、それを「やっていない学校もあるので、実施率に限ると、バンド演奏94.4%、喫茶店93.9%、バザー81.1%となる。

③ 人気のないもの

作品展示(78.5%)、研究発表(78.3%)、合唱(54.1%)。ただし、実施している学校の中で、人気のないものに限ると、作品展示78.5%、研究発表81.1%、合唱71.5%となる。

実をいうと、調査に先だって、かなりの文

化祭のプログラムを集めた。それだけに、文化祭の種目についての事前調査を行っていたつもりだが、表3のように、予想以上に「していない」学校が多かった。

データを集めたといっても、サンプルに偏りがあったのであろう。そこで、あらためてプログラムの実施率を調べると、表4のとおりとなる。

模範演技や講演会をしていない学校が多いのは、生徒たちが望まなかったのかもしれない

いが、お化け屋敷や縁日は生徒がしたいというのを学校が禁止したのであろう。したがって、実施していない割合は、学校の方針を示している面を含んでいよう。

なお、学校のタイプ別では、大学進学率8割以上の進学校で、研究発表やビデオ制作、講演会、合唱などが多く、カラオケやバザーが少ない。したがって、進学校のほうに、かつての文化祭に近い性格のものが残されている印象を受ける。

図1 文化祭の変化

— 展示からバンド演奏へ —

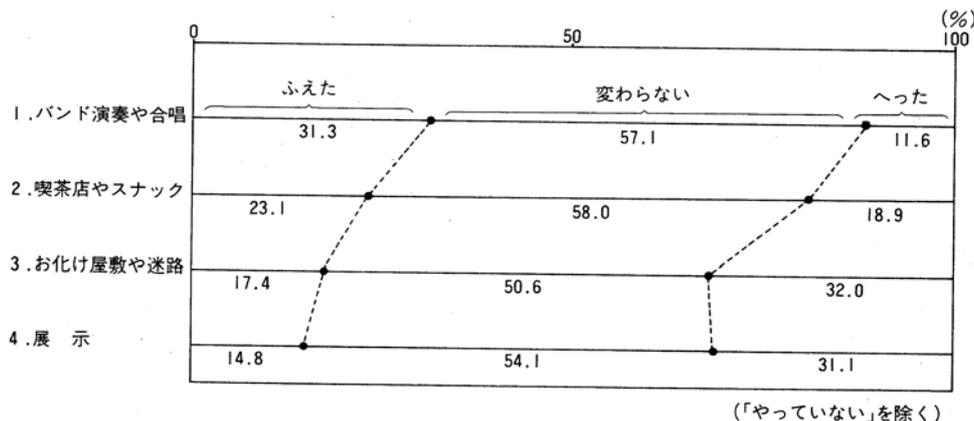


表2 文化祭の変化

— お化け屋敷をやっていない45% —

活動	ふえた (%)		あまり変わっていない (%)	へった (%)		そうしたことをやっていない (%)
	とても	かなり		やや	かなり	
1. お化け屋敷や迷路	0.9	8.6	27.7	5.8	11.7	45.3
	9.5			17.5		
2. 喫茶店やスナック	2.1	15.5	44.3	7.3	7.0	23.8
	17.6			14.3		
3. 展示	3.0	11.8	54.1	19.9	11.2	0.0
	14.8			31.1		
4. バンド演奏や合唱	3.6	27.2	56.2	8.5	3.0	1.5
	30.8			11.5		

(設問：この5年くらいの間に文化祭はどんな変わり方をしていますか。)

表3 プログラムの人気

—バンド演奏に人気—

(%)

	人気がある		人気がない		そうしたことをやっていない
	とても	かなり	あまり	まったく	
1. 縁日	13.8	32.0	8.7	0.0	45.5
2. お化け屋敷・迷路	16.6	24.7	8.1	0.3	50.3
3. 喫茶店	19.7	49.2	4.5	0.0	26.6
4. スナック (やきそば、おでんなど)	17.0	37.1	3.0	0.0	42.9
5. ゲーム・クイズコーナー	7.7	42.9	22.6	2.4	24.4
6. 演劇	8.6	31.7	43.4	7.1	9.2
7. バンド演奏	44.8	43.2	5.2	0.0	6.8
8. 合唱	3.0	18.6	46.0	8.1	24.3
9. カラオケ大会	13.9	33.3	12.1	0.9	39.8
10. 映画・ビデオの制作	7.8	39.4	24.9	2.1	25.8
11. レンタル映画・ビデオの 上映	7.2	32.7	27.8	3.6	28.7
12. 作品展示(写真、書道など)	0.3	20.9	67.3	11.2	0.3
13. 研究発表(文化的な展示)	1.8	16.6	62.0	16.3	3.3
14. 運動部の模範演技・対外 試合	0.9	13.4	9.9	0.9	74.9
15. 講演会・討論会	1.5	7.6	23.2	6.4	61.3
16. バザー	18.6	47.2	14.4	0.9	18.9

○ = 最大値

図2 文化祭のプログラムの人気

—— 人気のあるのはバンドと喫茶店・バザー ——

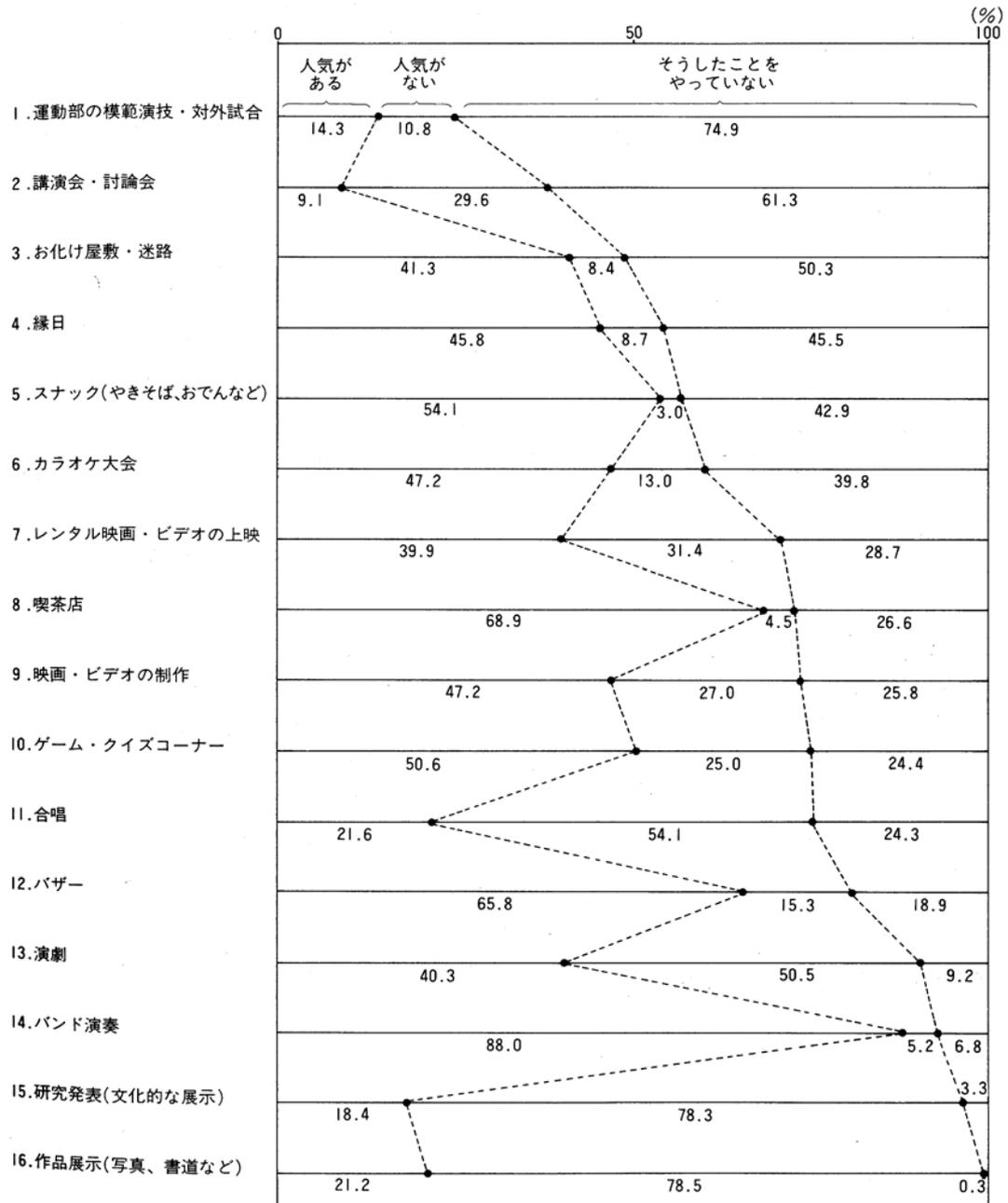


表4 プログラムの実施率×属性

—進学校は研究発表—

(%)

	設置別		男女別		進学率				全体
	国公立	私立	別学	共学	2割以下	2～4割	5～7割	8割以上	
1. 運動部の模範演技・対外試合	18.4	52.3	18.6	49.3	15.5 <	23.0 <	25.6 <	35.4	25.1
2. 講演会・討論会	35.9	49.3	40.5	32.4	33.8	34.4	34.8	51.2	38.7
3. お化け屋敷・迷路	51.5	42.4	51.1	44.3	47.3	50.8	53.8	47.6	49.7
4. 縁日	53.7	57.8	53.0	60.3	58.7	60.0	50.5	51.2	54.5
5. スナック（やきそば、おでんなど）	51.9	77.6	53.4	72.5	68.1	61.5	66.2	56.5	57.1
6. カラオケ大会	62.2	53.0	61.3	56.5	68.5	60.3	61.7	50.6	60.2
7. レンタル映画・ビデオの上映	60.7	74.2	72.5	66.7	82.2 >	73.4 >	66.7 >	64.7	71.3
8. 喫茶店	70.8	84.8	70.6	84.3	80.0	70.8	68.5	73.8	73.4
9. 映画・ビデオの制作	75.6	67.7	76.9	63.8	56.8	77.8	76.6	88.1	74.2
10. ゲーム・クイズコーナー	74.5	80.6	75.8	74.6	73.3	62.5	83.0	80.2	75.6
11. 合唱	76.6	71.6	76.9	71.4	74.0	68.3	77.7	80.0	75.7
12. バザー	80.8	83.4	81.4	79.7	89.3	84.4	82.6	69.9	81.1
13. 演劇	91.4	88.1	91.0	90.1	87.8	86.2	91.5	96.5	90.8
14. バンド演奏	93.3	92.4	92.9	94.3	96.0	90.8	89.2	96.1	93.2
15. 研究発表（文化的な展示）	97.0	95.5	97.4	94.4	92.0 <	97.0 <	97.9 <	98.9	96.7
16. 作品展示（写真、書道など）	99.6	100.0	99.6	100.0	98.7	100.0	100.0	100.0	99.7

（実施率＝その種目をやっている割合）

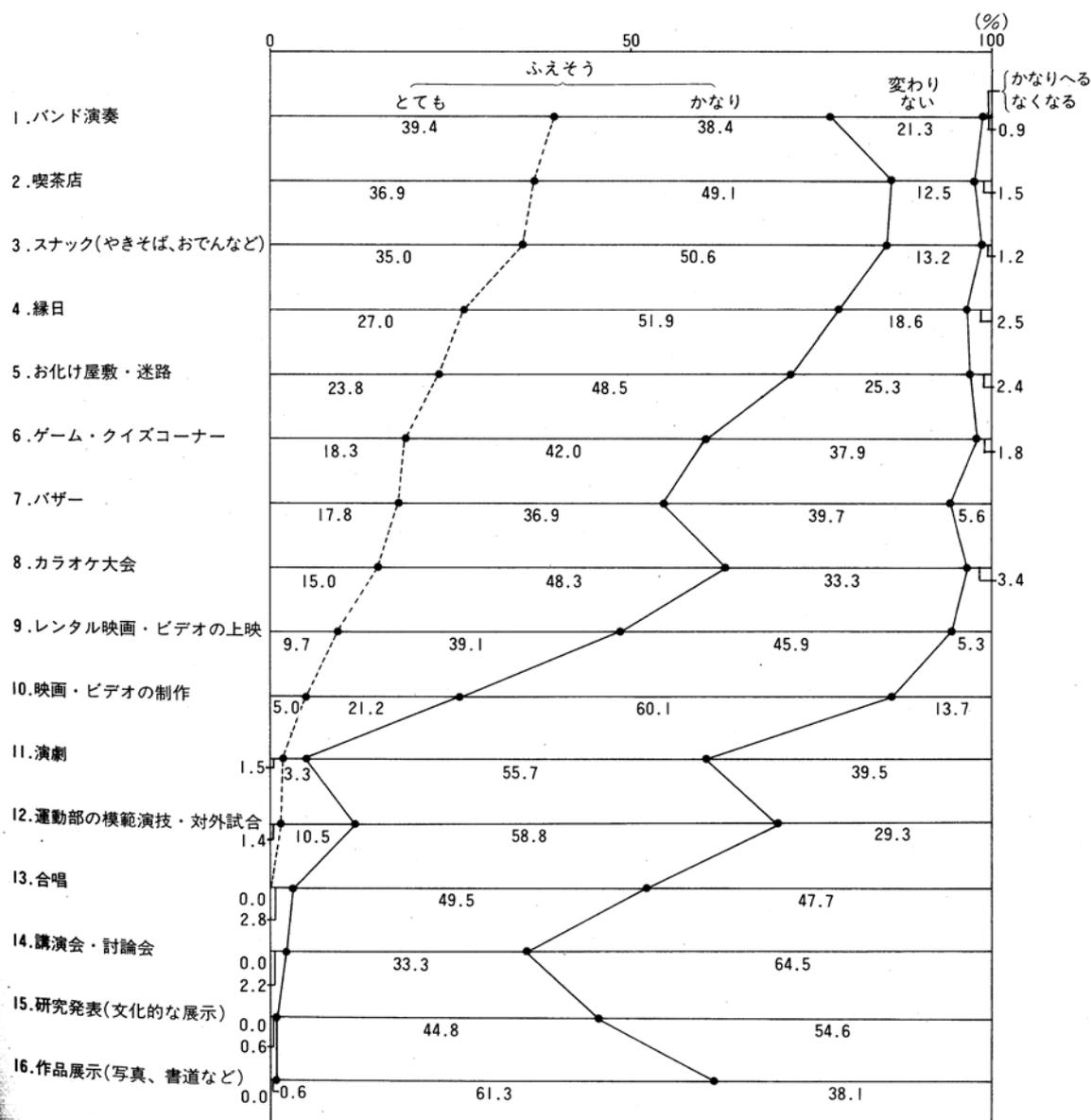
2. 教師たちの本心

こう見てくると、文化祭の種目の中に、学校の方針がからんでいるのがうかがえるが、それでは生徒たちの好きなままにしておくとうなりそうなのか。そうした予想をたずね

てみた。

「生徒たちの自主性にまかせたら」の結果は図3(表5)で、バンド演奏、喫茶店、スナック、縁日がふえそうだという。逆に、講

図3 生徒の自主性にまかせたら
——バンドと喫茶店がふえそう——



演会（討論会）や合唱、研究発表、作品展示はへるだろうと見ている人が多い。

お化け屋敷についての学校別のデータを表6に示したが、表7によると、進学校——といっても、5～7割の学校だが——に、自主

性にまかせると、喫茶店やスナックのふえそうな学校が多い。しかし、8割以上のトップの進学校は、そうした見通しを抱いていない。生徒たちが自制心を持っているので、うちの学校は大丈夫だと思えるのであろう。

表5 プログラムはふえそうか

——バンド演奏はふえそう——

(%)

	ふ え そ う		あまり 変わらない	かなり へりそう	まったく なくなる
	とても	かなり			
1. 緑日	27.0	51.9	18.6	0.0	2.5
2. お化け屋敷・迷路	23.8	48.5	25.3	0.9	1.5
3. 喫茶店	36.9	49.1	12.5	0.6	0.9
4. スナック (やきそば、おでんなど)	35.0	50.6	13.2	0.3	0.9
5. ゲーム・クイズコーナー	18.3	42.0	37.9	0.6	1.2
6. 演劇	1.5	3.3	55.7	25.0	14.5
7. バンド演奏	39.4	38.4	21.3	0.6	0.3
8. 合唱	0.0	2.8	49.5	28.8	18.9
9. カラオケ大会	15.0	48.3	33.3	0.9	2.5
10. 映画・ビデオの制作	5.0	21.2	60.1	4.7	9.0
11. レンタル映画・ビデオの 上映	9.7	39.1	45.9	2.8	2.5
12. 作品展示(写真、書道な ど)	0.0	0.6	61.3	33.3	4.8
13. 研究発表(文化的な展示)	0.0	0.6	44.8	41.4	13.2
14. 運動部の模範演技・対外 試合	1.4	10.5	58.8	4.9	24.4
15. 講演会・討論会	0.0	2.2	33.3	20.8	43.7
16. バザー	17.8	36.9	39.7	2.8	2.8

(設問：生徒たちの自主性にまかせたら、以下のようなものはふえると思いますか。それともへりそうですか)

○ = 最大値

そ
プ
い。
の

そこで、あらためて教師たちに文化祭の種目について、少なくすべきか、それともさかんにしたいのかをたずねてみた。全体の傾向は表8のとおりだが、「生徒の自主性にまかせたらふえそう」と、「教師として、もっとさかんにしたい」とを対比して示すと、図4のような結果となる。

教師としてさかんにしたい種目は、研究発表と作品展示、講演会で、生徒たちに人気のある喫茶店やお化け屋敷、縁日はやめさせたいと思っている教師が多い。したがって、図式化してとらえるなら、文化祭の種目について、以下のような要約が可能であろう。

① 教師たちはやらせたがっているが、生徒たちには不人気の種目——1. 研究発表 2. 作品展示 3. 講演会（討論会） 4. 演劇

② 教師たちはやめたがっているが、生徒たちはやりたがっているもの——1. 喫茶店 2. お化け屋敷 3. 縁日 4. バンド演奏
仮に研究発表や作品展示を「学習型」、喫茶店やお化け屋敷を「遊び型」と考えるなら、教師は学習型を望んでいるが、生徒たちは遊び型の文化祭をしたいと考えているといえよう。

こうした生徒と教師とのギャップは、その他の面にもあらわれており、日程その他についてのギャップは、表9（図5）のとおりとなる。

生徒＝もっと自由に、お祭りらしく
教師＝もう少しきびしく、文化的に
そして、表10のとおりに、どの学校の生徒たちも、お祭りが好きといった印象を受ける。

表6 お化け屋敷がふえたか（5年間の推移）

——やっていないが属性を越えて——

(%)

		ふえた		変わって いない	へった		やって いない
		とても	かなり		やや	かなり	
設置別	国公立	0.8	9.2	27.6	6.5	12.3	43.6
	私立	1.6	6.3	28.1	3.1	9.4	51.5
男女別	別学	0.4	10.0	27.8	5.4	12.7	43.7
	共学	2.9	4.4	26.5	7.4	7.4	51.4
進学率	2割以下	0.0	2.7	31.5	9.6	12.3	43.9
	2～4割	1.6	12.9	24.2	1.6	9.7	50.0
	5～7割	2.2	10.8	30.1	6.5	10.8	39.6
	8割以上	0.0	7.2	25.3	6.0	13.3	48.2
全	体	0.9	8.6	27.7	5.8	11.7	45.3

表7 ふえそうか×属性

—私立はバンド、公立はバザー—

(%)

	設置別		男女別		進学率			
	国公立	私立	別学	共学	2割以下	2～4割	5～7割	8割以上
1. バンド演奏	76.5	83.0	78.3	76.4	74.3	84.6	80.4	70.5
2. 喫茶店	85.7	87.3	87.5	80.3	88.9	83.1	88.1	81.7
3. スナック(やきそば、おでんなど)	86.2	82.8	86.9	80.6	83.6	87.7	88.8	84.1
4. 緑日	79.3	77.4	80.4	73.9	76.1	82.3	81.1	76.9
5. お化け屋敷・迷路	73.3	67.8	75.9	58.5	65.3	< 73.5	< 83.4	78.2
6. ゲーム・クイズコーナー	60.9	57.5	60.4	59.1	57.8	55.6	< 68.9	59.8
7. バザー	58.7	38.1	57.8	42.2	50.0	61.5	57.2	52.5
8. カラオケ大会	64.1	59.7	64.1	59.4	64.3	65.0	64.9	60.7
9. レンタル映画・ビデオの上映	49.4	36.0	50.8	40.9	49.3	51.6	46.7	50.6
10. 映画・ビデオの制作	24.7	32.1	26.9	22.3	15.9	33.9	27.8	26.2
11. 演劇	4.5	6.1	4.9	4.4	1.4	4.6	6.5	3.6
12. 運動部の模範演技・対外試合	11.8	11.9	11.8	12.0	1.6	0.0	1.2	2.7
13. 合唱	3.1	1.6	3.1	1.5	4.3	1.6	3.3	2.5
14. 講演会・討論会	1.2	6.2	1.2	6.1	2.9	1.6	2.2	1.3
15. 研究発表(文化的な展示)	0.0	3.1	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	1.4
16. 作品展示(写真、書道など)	0.4	1.5	0.4	1.5	0.0	0.0	0.0	2.4

表8 教師の評価

— 研究発表や作品展示を —

(%)

	少 なく			今のままで	もっと さかんに	
	ぜ ひ なくしたい	も っ と	や や			
もっとさかんに	1. 研究発表 (文化的な展示)	0.6	0.3	0.0	5.6	93.5
		0.9				
	2. 作品展示 (写真、書道など)	0.3	0.0	1.2	19.9	78.6
		1.5				
	3. 講演会・討論会	2.5	0.6	1.2	24.0	71.7
	4.3					
今のままでよい	4. 演劇	0.6	0.3	0.3	28.9	69.9
		1.2				
	5. 合唱	0.6	0.9	1.8	40.2	56.5
		3.3				
	6. 映画・ビデオの制作	2.1	2.6	6.7	44.7	43.9
	11.4					
もっと少なく	7. 運動部の模範演技・対外試合	11.7	2.0	5.4	50.7	30.2
		19.1				
	8. バザー	5.1	5.7	9.6	66.4	13.2
		20.4				
	9. レンタル映画・ビデオの上映	13.1	9.2	15.6	53.8	8.3
	37.9					
もっと少なく	10. ゲーム・クイズコーナー	10.5	13.9	20.4	48.4	6.8
		44.8				
	11. カラオケ大会	18.8	11.1	19.7	45.5	4.9
		49.6				
	12. スナック (やきそば、おでんなど)	23.8	10.2	17.3	43.8	4.9
		51.3				
もっと少なく	13. バンド演奏	8.0	14.2	27.9	45.2	4.7
		50.1				
	14. 緑日	20.8	14.6	18.9	41.4	4.3
		54.3				
もっと少なく	15. お化け屋敷・迷路	32.6	13.2	15.4	36.3	2.5
		61.2				
もっと少なく	16. 喫茶店	13.0	14.5	19.7	50.4	2.4
		47.2				

(設問: あなたご自身としては、①~⑥のようなだしものを、どうお感じですか。)

○ = 最大値

ぜ ひ も っ と や や 今 の ま ま で も っ と
 なくしたい 少なく 少なめに いい さかんに
 1 2 3 4 5

図4 さかんにさせたいと生徒の人気

——教師と生徒とのギャップ大きい——

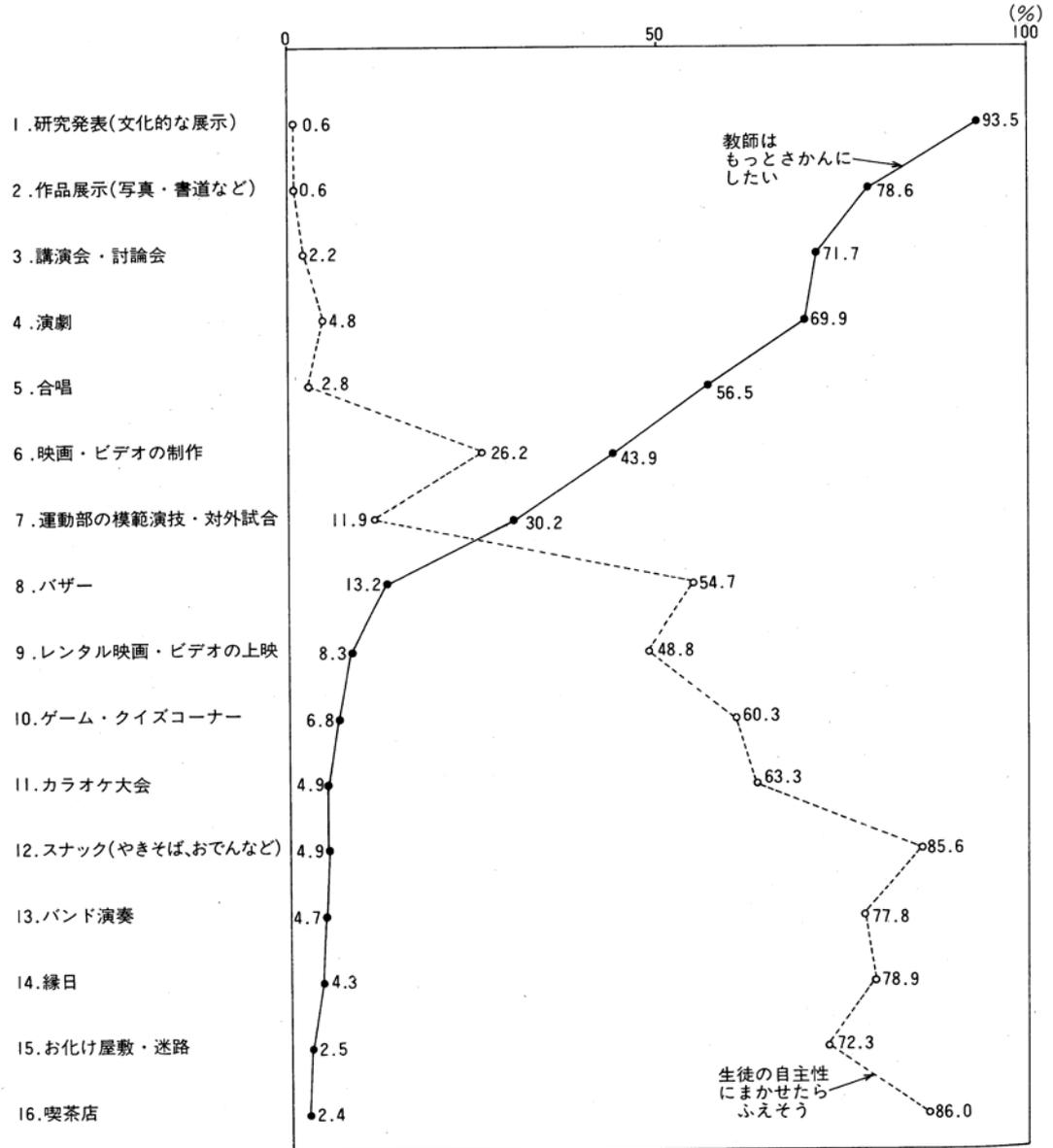


表9 文化祭のあり方

(%)

		もう2~3日 長く	もう1日 多く	今のままで いい	もう少し 短く	まったく なくしたい
1.日程	生徒	2.7	42.0	54.7	0.6	0.0
	教師	0.3	6.6	85.3	6.9	0.9
		もっと 自由に	やや自由に	今のままで いい	やや きびしく	もっと きびしく
2.持ち方について の規制	生徒	39.9	40.2	19.6	0.3	0.0
	教師	3.0	21.2	62.4	11.6	1.8
		より お祭りに	やや お祭りに	今のままで いい	やや 文化的に	より 文化的に
3.文化祭の性格	生徒	33.0	47.0	16.1	2.4	1.5
	教師	1.2	7.8	21.9	45.7	23.4

図5 生徒と教師とのギャップ

——教師は文化的、生徒はお祭り——

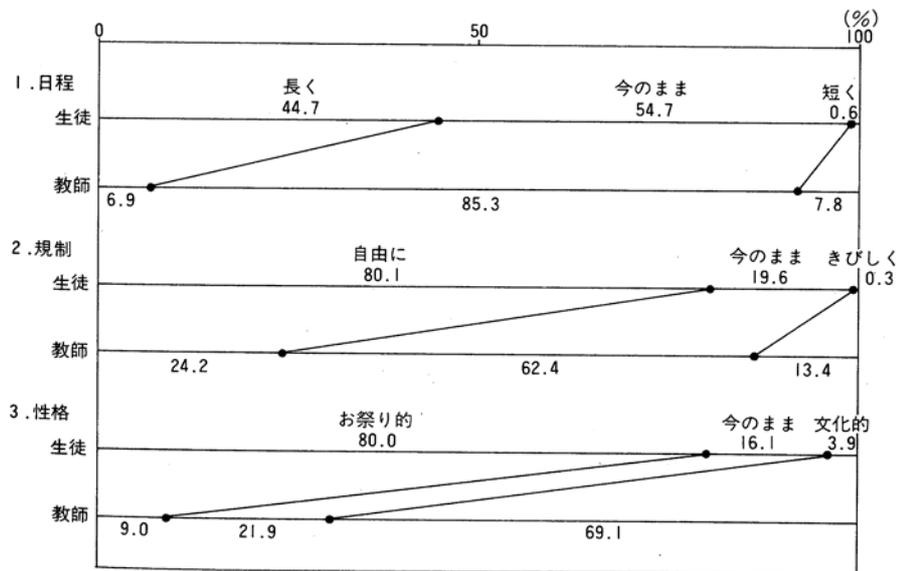


表10 生徒はお祭り好きか×進学率

—どの学校もお祭り好き—

(%)

		お祭りの		今のまま	文化的	
		より	やや		やや	より
進 学 率	2割以下	37.3	48.1	12.0	1.3	1.3
	2～4割	32.3	52.3	7.7	3.1	4.6
	5～7割	37.2	46.9	13.8	2.1	0.0
	8割以上	27.1	45.9	23.5	3.5	0.0
全 体		33.0	47.0	16.1	2.4	1.5

3. 取り組みの姿勢

こう見てくると、文化祭は教師の理想と生徒たちの気持ちとのぶつかり合いの場といった感じがしてくる。それだけに、生徒たちの主体性がどの程度認められるかが、文化祭の性格を決めるように考えられるが、表11によると、文化祭のタイムスケジュールや実施要領は、教師と生徒とが相談して決める形が多いという。

「相談」というと聞こえがよいが、実際は

教師からすれば、指導であろうし、生徒側からすると、押しつけになるのかもしれない。もちろん、文化祭は学校行事なのであるから、生徒の希望をすべて受け入れることが望ましいとは思わないが、それにしても相談の名のもとに合意が得られて、文化祭が行われるのであろう。なお、表12によると、進学校のほうが、生徒がテーマを決める場合が多い。

そこで、生徒たちの取り組みの姿勢を図6

表11 文化祭の決定

—生徒の意向を尊重している—

(%)

	生徒たちが決め、それを教師が認める形をとって決めた	生徒たちの原案にもとづき教師が決めた	生徒と教師とが相談して決めた	主として教師サイドで決めた
1. テーマ	78.1	3.4	17.2	1.3
2. タイムスケジュール	25.0	12.0	39.2	23.8
3. 文化祭の実施要領	28.5	15.3	45.1	11.1

○ = 最大値

表12 文化祭のテーマ

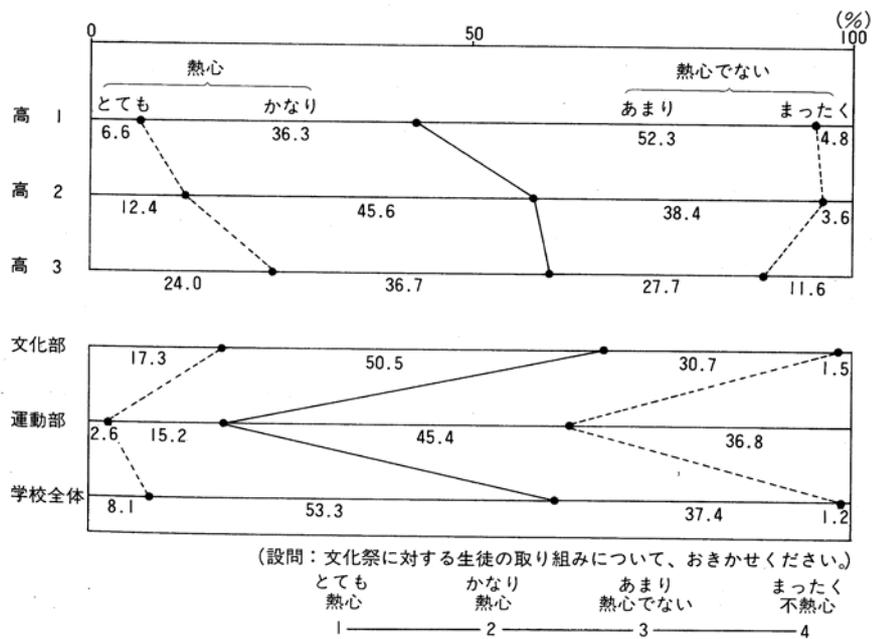
—公立校は生徒を尊重—

(%)

		生徒が決める 教師が認める	生徒の原案を 教師が認める	生徒と教師 が相談	主として 教師
設置別	国公立	80.2	2.3	16.3	1.2
	私立	69.4	8.1	21.0	1.6
男女別	別学	77.5	4.0	17.0	1.6
	共学	80.6	1.5	17.9	0.0
進学率	2割以下	73.2	17.0	15.5	4.2
	2～4割	72.1	3.3	23.0	1.6
	5～7割	80.4	4.3	15.2	0.0
	8割以上	80.8	0.0	19.2	0.0
全体		78.1	3.4	17.2	1.3

図6 文化祭の取り組み

—高1<高2<高3—



に示した。全体として、熱心と熱心でない生徒があいなかばしている感じだが、そうした中で、学年が上がるにつれて熱心な生徒がふえるのが注目をひく。さらに表13の属性別の分析結果のように、進学校になるほど熱心な生徒の占める割合が多い。

そうした傾向は、図7に示したとおりだが、教師側の反応は表14のように、一部の先生が熱心という学校が多い。文化祭を全校あげては理想であっても、文化祭に背をむける教師がいるのもやむをえない。

なお、教師と生徒のどちらが積極的なのか

については、図8にくわしい。文化祭は生徒の祭りなのであるから、生徒が積極的だと思っていたのに、積極的なのは教師と生徒がほぼなかばしている。

しかも、進学率の高い高校では、生徒が積極的なのに対し、非進学校では、教師の働きかけがあって、文化祭が成り立っている。

こうしたデータを見ていると、言葉がよくないが、「しっかりしている生徒」がどれくらいいるかが大事なようで、進学校はそうしたタイプが多いので、教師としても安心して生徒にまかせられるが、非進学校だと、核に

表13 文化祭の取り組み
—進学校ほど熱心—

		熱心		熱心でない		熱心の割合
		とても	かなり	あまり	ぜんぜん	
設置別	国公立	8.6	52.5	38.2	0.7	61.1
	私立	6.0	56.7	34.3	3.0	62.7
男女別	別学	7.2	51.6	40.8	0.4	58.8
	共学	11.3	59.1	25.4	4.2	70.4
進学率	2割以下	5.3	44.0	46.7	4.0	49.3 ^
	2~4割	9.3	44.6	44.6	1.5	53.9 ^
	5~7割	6.5	56.1	37.4	0.0	62.6 ^
	8割以上	11.8	61.1	27.1	0.0	72.9 ^
創立年	明治	11.9	50.4	34.9	2.8	62.3
	大正	4.3	52.2	43.5	0.0	56.5
	昭和	2.9	60.0	37.1	0.0	62.9
	昭和20~35年	2.2	69.5	28.3	0.0	71.7
	昭和36年以降	9.3	47.4	42.3	1.0	56.7
全体		8.1	53.3	37.4	1.2	61.4

なる生徒がはず、放っておくと文化祭が下火になるか、それともまったくのモギ店だらけになってしまう。そのため、やむをえず教師

が乗り出すのであろう。非進学校の教師たちの苦勞が図中にあらわれているような気がする。

図7 生徒の取り組み×学校

——進学校では7割が熱心——

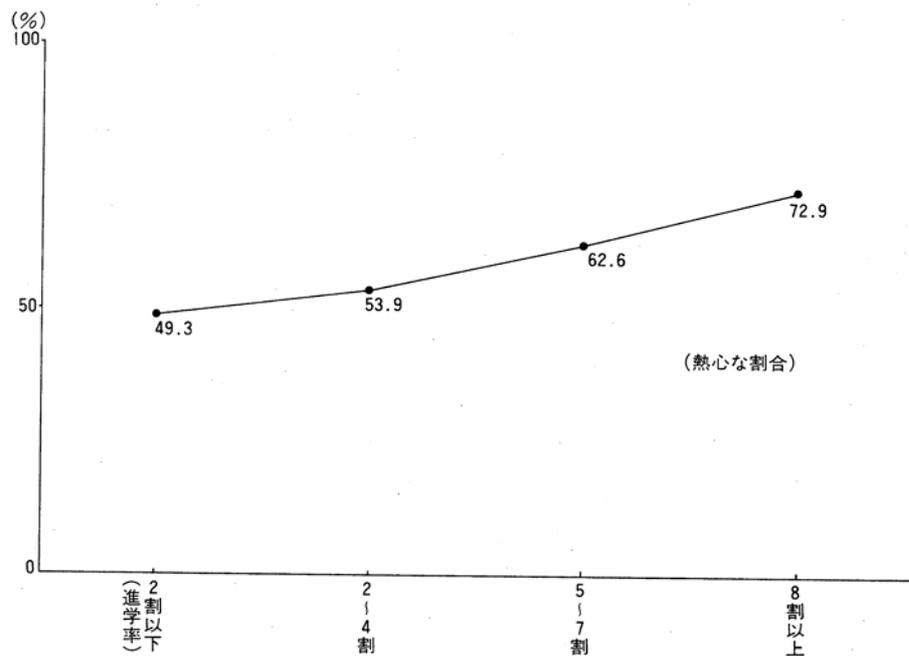


表14 教師の取り組み

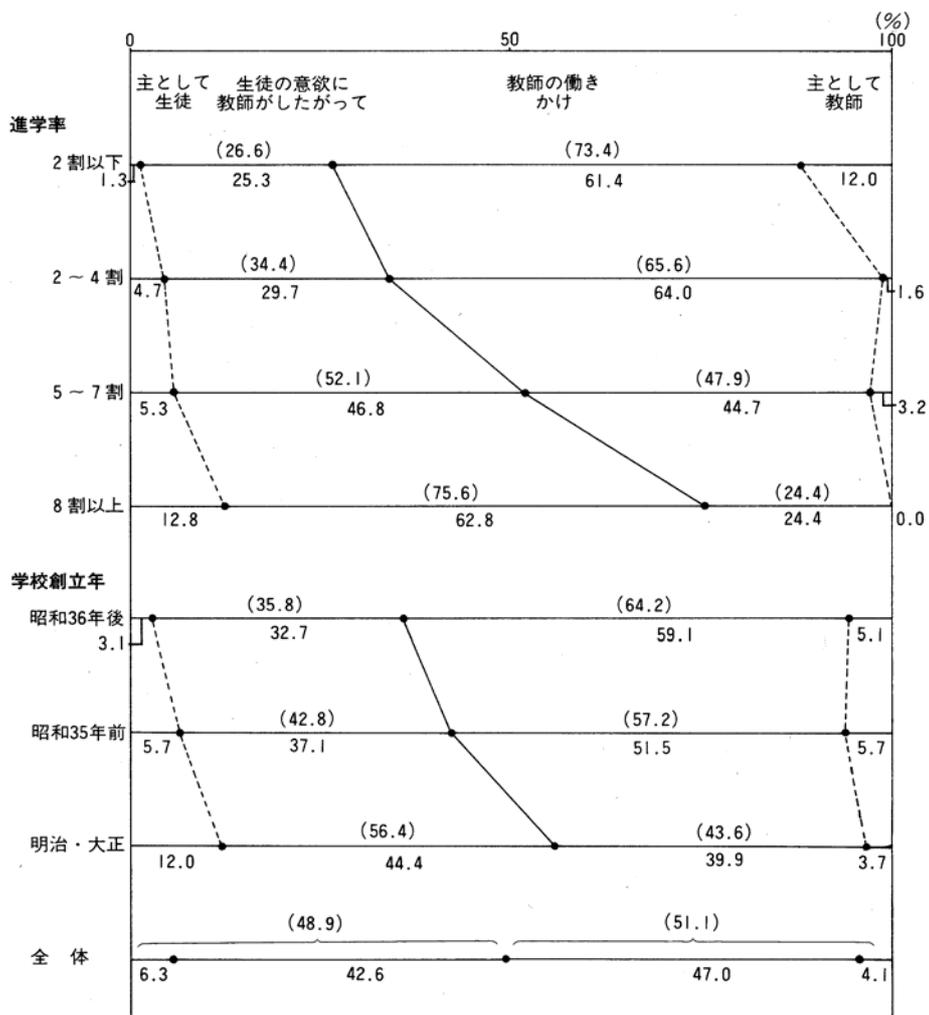
——一部の先生だけ熱心——

(%)

		熱心		一部だけ熱心	熱心でない
		全部が	かなり		
進学率	2割以下	6.7	24.0	62.6	6.7
	2~4割	7.7	41.5	44.6	6.2
	5~7割	4.3	34.0	54.3	7.4
	8割以上	3.5	34.9	54.6	7.0
全体		5.3	33.4	54.4	6.9

図8 どちらが意欲的

—進学校は生徒が意欲的—



4. 文化祭のイメージ

それでも全体として、文化祭のイメージは良いようで、秩序がとれ、明るく、にぎやかという感じが抱かれている(図9)。

そして、これまでの分析からもうかがえるように、進学校ほどそうした良いイメージを抱いている教師が多い。逆ないい方をすると、非進学校では文化祭に無気力という感じを持つ者が少なくないように見える(図10)。

なお、見学者はもっと多くを望んでいる者が多いのは、表15のとおりだが、あらためて文化祭の役割をたずねると、表16のような結果が得られる。

父母や地域の人たちの学校への関心を高めたいのはたしかだが、それ以上に生徒の帰属意識を強めていくのに、文化祭を役立たせたいという見方である。そして、表17によれば、

生徒の帰属意識を強めるのに役立つという反応は、進学校のほうに認められる。非進学校では、意欲が高まるとまでいえないのであろうか。

いずれにせよ、文化祭は教師側の求める学習的な側面と、生徒たちの望む遊び的な性格の両面の上に成り立っている。そして、進学校では、生徒たちの間に学習的(あるいは文化的)な文化祭を支える土壌が存在するので、文化祭が成立しやすい。しかし、非進学校では、核となる生徒たちが少なく、そのうえ生徒たちの間に、いわば遊び志向が強いので、教師たちの思っているような文化祭が成立しにくい。それだけに、非進学校の教師が文化祭のあり方をめぐって苦悩している可能性が強い。

図9 文化祭のイメージ

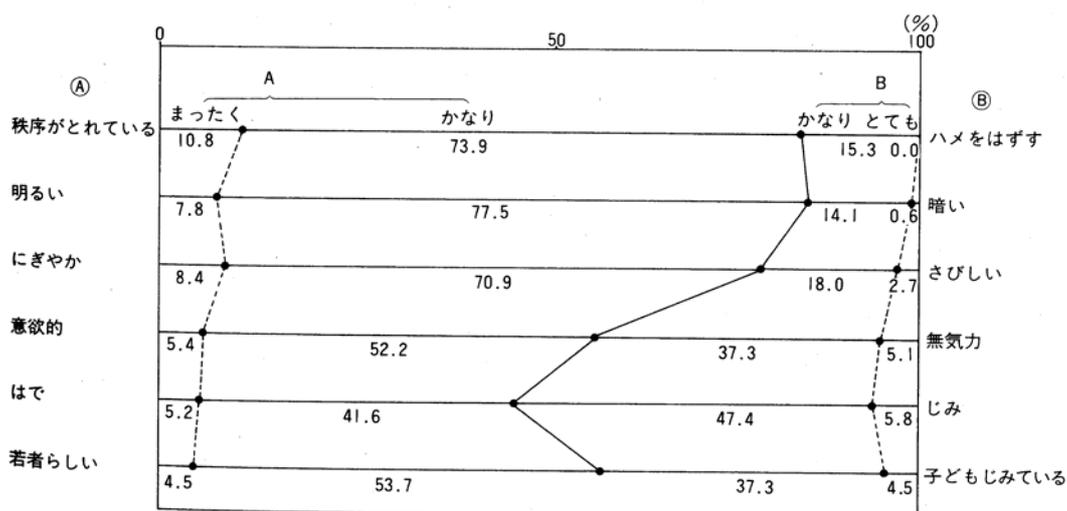


図10 文化祭のイメージ×進学率

—進学校は意欲的—

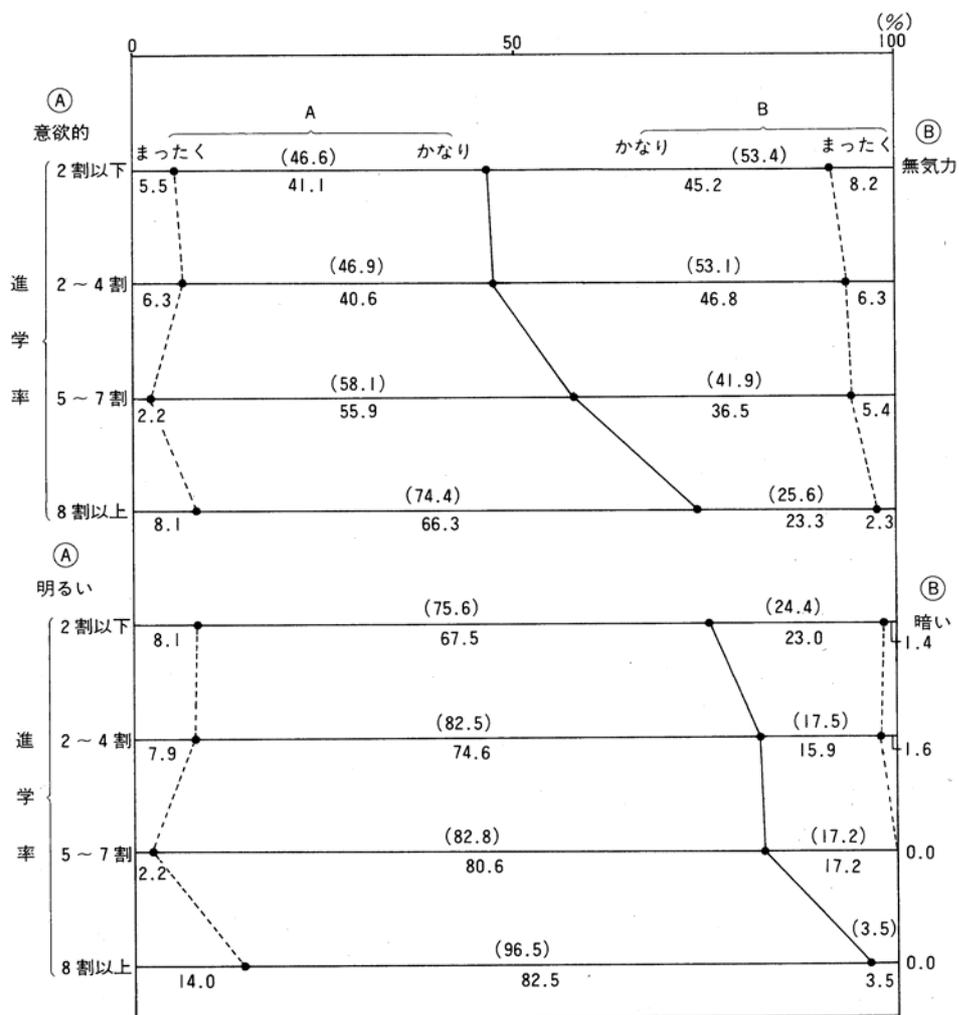


表15 見学者

—親たちはもっと多く—

	少なく	今くらい	多	
			もっと	倍以上
小・中学生	10.5	55.7	28.6	5.2
他校の高校生	8.4	55.6	29.4	6.6
父母	0.3	19.3	60.5	19.9
地域の人	2.0	24.7	56.5	16.8

○ = 最大値

表16 文化祭の役割

—生徒の帰属意識を高めるため—

(%)

	役 立 っ			役立たない	
	とても	かなり	や や	あまり	まったく
生徒の帰属意識	19.0	36.8	36.5	7.1	0.6
	55.8			7.7	
父母の関心	9.5	24.1	39.6	23.2	3.6
	33.6			26.8	
地域の人の関心	9.5	20.8	39.3	24.7	5.7
	30.3			30.4	

○ = 最大値

表17 生徒の帰属意識×進学率

(%)

		役 立 っ			役立たない	
		とても	かなり	や や	あまり	ぜんぜん
進 学 率	2割以下	17.3	38.7	36.0	8.0	0.0
	2 - 4割	18.5	29.2	46.1	6.2	0.0
	5 - 7割	18.1	35.1	38.3	6.4	2.1
	8割以上	22.1	40.7	31.4	5.8	0.0
全 体		19.0	36.8	36.5	7.1	0.6

第II章 プログラムを手がかりとして



1. 全体としての印象

アンケート調査とは別に、文化祭についての資料を送付してほしいとお願いした。たくさんの中からプログラムを手がかりとして、文化祭についての全体像を紹介しようとしたのが、巻末の一覧である。(P.72資料1参照)

くわしくは一覧に目をとおしてほしいが、全体を要約すると、以下のようになる。

① 日時 9月の土、日の2日を使う。

- | | | |
|--------|-----|--------------|
| 1) 何日か | 4日 | 1.1% (2校) |
| | 6日 | 5.1% (9校) |
| | 7日 | 5.6% (10校) |
| | 8日 | 6.2% (11校) |
| | 9日 | 62.9% (112校) |
| | 10日 | 11.2% (20校) |

- | | | |
|-------|------------|--------------|
| 11日 | 7.9% (14校) | |
| 2) 日数 | 1日間 | 11.2% (20校) |
| | 2日間 | 75.4% (134校) |
| | 3日間 | 11.2% (20校) |
| | 4日間 | 2.2% (4校) |

3) 日曜日をはさむか

日曜日をはさむ 64.6% (115校)

日曜日をはさまない 35.4% (63校)

北海道を中心に、東北から関東にかけて、日曜日をはさんで活発な文化祭をやっている印象を受ける。しかし、関西から中国、九州へかけて、西へいくほど日曜を避けて、平日のややさめた感じの文化祭を行っている。

② 学外者を招いてのイベント 全体とし

て少なく、講演会は26校に限られていた。そのうちの大半は、OBか地方局のアナウンサーなど、生徒にとって親しみをもてる対象だったのは納得できる。

なお、きわめて少数ながらプロを招いてのコンサートや観劇などもあった。文化祭のレベルをあげるひとつの方向として、今後の検討に値しよう。

③ 仮装行列 なぜか北海道で、仮装行列がさかんだ。くわしくはのちにふれる資料を参照されたい。

④ 体育祭との関係 プログラムからわかったかぎりでも、文化祭の前後に運動会を持ち、文化祭と体育祭とを合わせて学校祭としている事例は32校と、18.0%に達した。これも学校のメモリアル・ウィークとして位置づけ、そこに学校生活のピークをもっていきいき方として納得できる。

⑤ テーマをめぐって さすがに若者らしいテーマが多かった。プログラムや資料の中にテーマ設定の理由が書かれていて、興味深い。そのうちのいくつかを紹介しておこう。

1) 「青春の荒野を走れ」(北海道立千歳北陽高校)

今、私たちは青春の真ただ中にいます。しかし、あなたは青春とは何かと聞かれて答えることができますか？青春とは何でしょうか？本当に青春の真ただ中にいるといえるのでしょうか？“めんどくさい”“やるきがない”、HRで話し合う時、必ず出る言葉です。誰でもいいのです。1人でもいいのです。青春の荒野に飛び込み“めんどくさい”“やるきがない”をふりはらい、北陽祭で私たちのもっているはずの情熱を燃え上がらせようではありませんか！ぶつけようではありませんか！準備や当日で生まれた新しい友情や様々な想いを大切にし、踏み台にして、青春の荒野を走り抜き、今、そしてこれからの私たちの高校生活や社会生活を緑あふれるみずみずしい草原のように大きく Jump up させていこうではありませんか！

そんな理由でこのテーマにきめました。

2) 「鳳雛」(ほうすう)(私立札幌大谷高校)

会長の挨拶

生徒会長 佐々木 敏恵

1986年の学校全体の最大行事である“学園祭”が、いよいよ開幕します。この学園祭準備に取り組むなかで、一人ひとりの個性を発揮し、努力し、クラスみんなの輪が広がったことと思います。

今年は本校創立80周年ということで、テーマを「鳳雛—未来に期待される少女達—」とつけました。まさに、記念すべき新しい出発点から第一歩を踏み出そうとしている私達にふさわしいテーマだと思います。ですから去年とは違う、また来年とも違う学園祭を皆さんの手で作り出すために、最後の最後まで全力を尽くし、大成功の道へと切り開いて行くではありませんか。

“あなたにならできる!! 素敵な思い出作りが……”

—テーマについて—

鳳雛 ほうすう

—未来に期待される少女たち—

鳳雛とは、鳳凰のひなを現し中国で聖王の出現の兆とされる想像上の瑞鳥のことで麒麟・竜・亀と共に四霊として尊ばれています。鳳雛は未来に向けて大きくはばたくものたとえとされているものです。この鳳雛のように未来にはばたく少女たちとしてこのテーマを考えました。

表紙デザイン 森永 美佳(6の10)

3) 「今、開かれる青春のGATE」(鳥取県立青谷高校)

学校祭を迎えて

生徒会長 山下 浩二

毎年恒例のイベント—青高祭が始まろうとしています。昨年は国体の為、時間が縮小され非常に残念でした。そこで、今年は新しい試みとして、執行部よりたて割企画案が出、

実行のはこびとなりました。たて割対抗で、ステージ発表、クラス展示、模擬店、たれ幕・シンボル、デコレーション、そして仮装・着付けの部と全員参加で協力し合い、素晴らしい催しを見せてくれると思います。今年のテーマは『今、開かれる青春のGATE!』です。まるでダービーのように今でも馬が飛び出すような雰囲気ですが、この勢いで頑張りましょう。

4) Dream Generation(秋田県立大曲高校)

新しい二十一世紀に向けて、我々に大切なのは何か。それは、夢みる心を失わないこと。夢を見続けること。新時代への壁を跳び越えるには、一人の力ではだめなんです。みんなの力があってこそ、初めて跳び越えることができるのです。その力を与えてくれるもの、それこそ今我々が求めようとしている“夢”なんです。私達はこの夢をつかむために、九月祭に夢を求めてがんばります。夢みる世代を生き、夢を求め続ける限り、我々の未来は明るいのです。

テーマ曲

「Dreamin」 BOWY

「My Revolution」 渡辺 美里

「少年の瞳」 Look

5) 未来への序曲(Prelude)(兵庫県立姫路西高校)

全校生徒会委員長 白坂 隆浩

今日、遂に第39回文化祭を迎えることとなった。我々はこの日の為に努力を積み重ねてきたのだ。

そして今、我々はその努力の成果を一世紀余りにわたる西高の文化に加えようとしているのだ。

今日までのことを思い返せば、多くの苦勞、挫折感を味わいながらも、今日の為に希望を持ち準備を半年間も続けてきた。今日、その希望は大きな興奮と爽快さにかわるのだ。

今回の文化祭テーマ「未来への序曲[Prelude]—今、道は始まる—」の主人公は我々なのだ。

我々の手で未来への新しい道を切り開くのではないか。その道は誰の手でもない、我々自身の手で我々自身の為に切り開くのではないか。そして、新しい希望に満ちた未来への道を進んでいこうではないか! この二日間で西高文化を我々のものにしてしまおう。

2. 目についたプログラムの中から

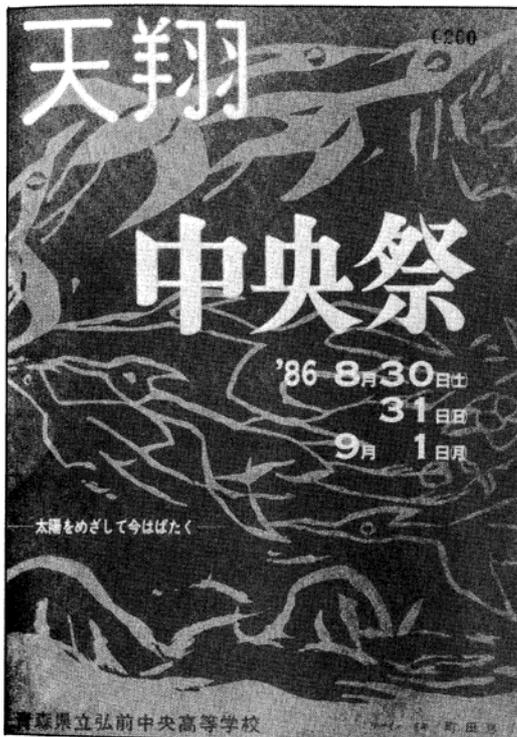
西
浩
な
て
余
の
芳、
望
そ
、
ト
、
う
マ
な
り
哥

1) 表紙について

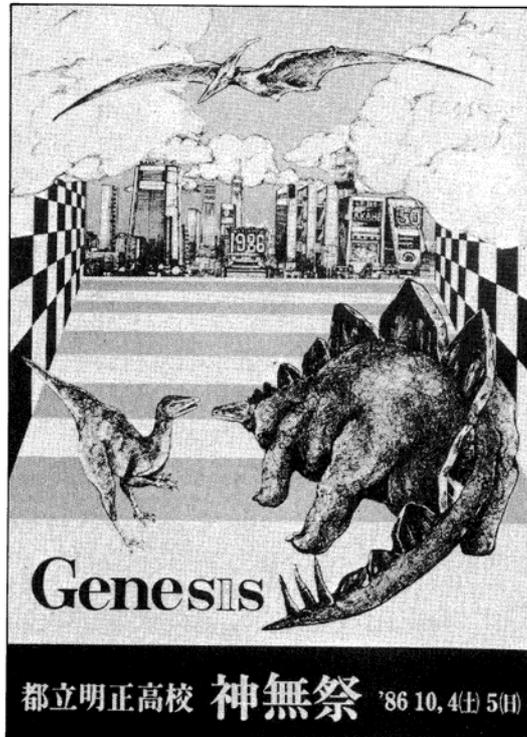
なんともカラフルで、若々しい。ともかく表紙について目を見はった。とかく「今の高校生は」と批判されがちだが、この表紙を見

ていると若者たちの良さを信じたくなった。すばらしい表紙が多かったが、独断と偏見で、6校の表紙を紹介させていただくことにした。

青森県立弘前中央高校



東京都立明正高校



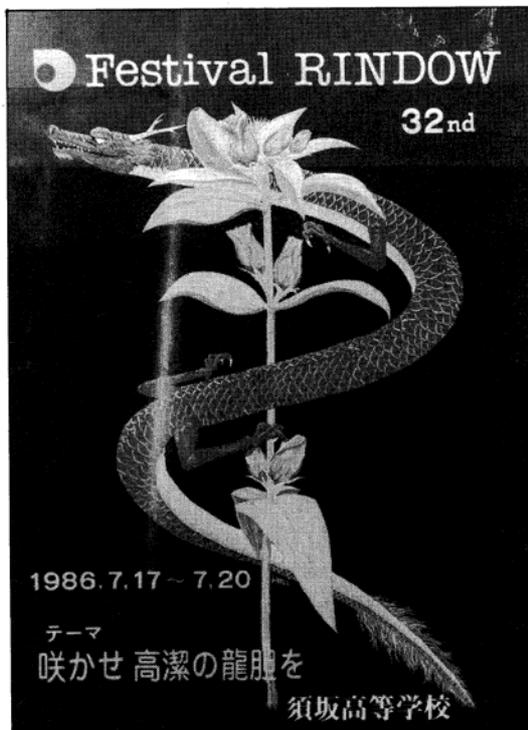
神奈川県立茅ヶ崎高校



私立帝京高校



長野県立須坂高校



東京都立豊島高校



2) プログラムから— 楽しく陽気そうなもの
 高校生らしいプログラムを3校紹介しておく。
 若者の祭りのように、1年に2~3日の

ことなら、この程度の陽気さを認めてやりたい
 と思った。

山口県立下松高校

イントロイズ・歌合戦・電流について (放送部)

恒例となりました放送部イントロイズPART4,
 として歌合戦!

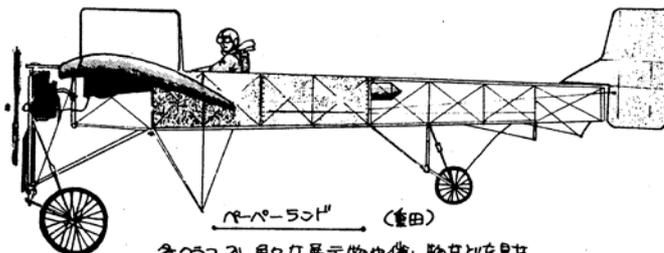
成績の良い人には素晴らしい賞品が出ますので、
 歌に自信のある人もそうでない人も、揮って御参加
 下さい!

Ⓜ 雨天時の場合は107のイントロイズ・歌合戦
 があります

CATARI (家庭club)

家庭clubでは、軽食&喫茶店“CATARI”
 を開きます。メニューもいろいろ取り揃えてあり
 ます。アイスクリューの販売もしほりの2枚を
 連を誘って勢ひいらして下さい!
 待てよ!

Ⓜ 雨天時の場合は105です! あります



各クラスで、色々な展示物や催し物などを見
 たり歩いたりする時、風心の少しでも首を横に向
 けてみ下さい
 ほら私や友達か描いたり作ったりした絵の作品
 がそこそこあなたの心を和ませてくれるでしょう。アメリオ X1 ファンス



4



化学講義室 (社会部)

「えらい」、「しんじい」、「だるい」、「かたじけ
 「誰か」など色々な標準語で色々な
 方言でしよう? 日頃使っている言葉を今一度
 見つめ直してみませんか? さあ! そこにいる君
 もあなたも彼も彼女も社会部に來てこのは
 らを解いてみよう! 是非おいで下さいませ!

物理講義室 (科学部)

「サイエンスラント」

科学部では日頃研究したり観察したりして
 こころ中心にお届けします
 ほやほや、葉用、ねと、今までなかったこと、た
 いよいよ、新しく加えられたので、とうとう見に来
 てください

視聴覚室 (JRC)

映画上映時間

21B (日) 10:00 ~
 13:00 ~



礼法室 (茶道部)

“薄茶会”
 茶道部では、今年も薄茶会を開き、何
 かすかに聞こえる放送やフォークの
 音楽をBGMに、ひととき“静”を味わ
 ってみませんか? 作法の分からない人も
 お気軽にとりま!

書道教室 (107)

“ゲームにチャレンジ”
 この教室に入れ、若はもうゲームの
 CHALLENGER! 無敵の世界が君
 を誘惑する。olds youngも、これ
 本ナメのゲームで“ノーバード”! さあ健
 全な人間は! おおはとに107に
 来たい!

美術教室 (美術部)

“美術部作品展示”
 夏休みの運動部並に(1?)せせと学校
 に置かれた、ただただおに作品とにらみ
 っことして今日に至りました
 作品の良し悪しはさておいてこの美術部
 の壁にたつ絵画にどうも拍手をお送り下
 さい。パチパチパチ。。。
 このお達の作品を是非見に来て下さいませ!

5

14

3F

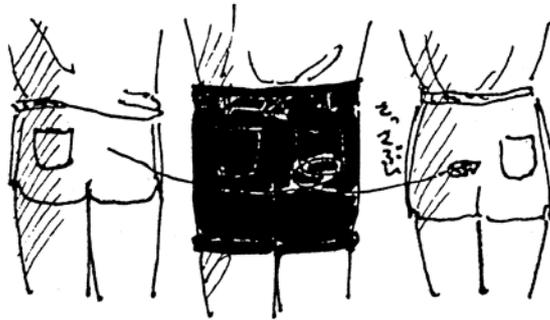
お茶にしましょうか？

まわりつかれたあなたに……。
ちょっと一服しませんか？
お茶とお菓子と初々しい1年生が
あなたの日本の感覚を刺激してくれま
す。心を静めて3年7組の教室まで
足を運んで下さいませ。

お茶部



正座なっらい。



被服

私達選択被服のメンバーは男女共に、
‘パンツ・ルック’を製作しました。
ショート・パンツや七分丈パンツetc.
種類もいろいろ！カラフルな布地
もいっぱいあって、どれも力作ぞろい
。ぜひ、おみのがしなく!!

3年被服選択者

日常の食生活

NOW! あなたは、正しい食生活を
送っていますか？ そこで我が
食物選択者は、ある人を例にとって
食生活を調査したところ、

なっ、なあ〜んと……!!

是非見に来て下さい!

他にも、添加物の実験結果など
いろいろありま〜す。

食物選択者



いちばん、うけいじょうめん

大人げない！

漫研では、ポスター・しおり・イラストの販売を行ないます。イラストはその場でお客さんの希望の絵を書くインスタントイラストを行なうので、みなさん漫研の所へ来て下さい。

漫画研究部



“空間・SPACE”

今年は“空間・SPACE”をテーマに各自、自分自身の空間を、作りえがいています。

実演コーナーも“七宝焼”“ぬりえ”と、皆さんの持ち味を發揮できます。素直な感情にひたりたい人

ぜひおいで。
美術部

15



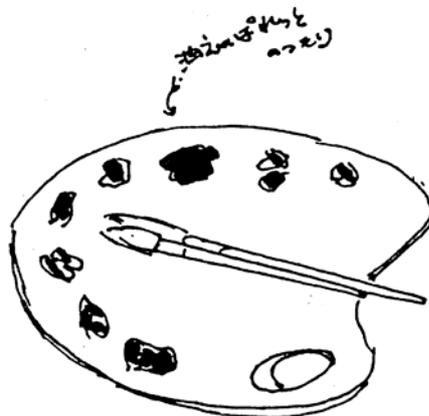
あなくろ

～ESP同好会からのPR～

内容は、カード占い・恋愛・対人関係のトラブル、最近起こりえるアクシデント、etc... 一呪いの方法などを展示しいいます。

ちょっと、立寄って見て下さい。

ESP同好会



大阪府立貝塚南高校

クラス	内 容	場 所
2年1組	物品バザー「なかみせ」 安いよ! 安いよ! 安いよ! 安いよ! 安いよ! 安いよ! 安いよ!	1 - 1 (21日)
2	映画「愛と青春の旅立ち」 みんな一生懸命がんばったから見に来てネ! チュッ チュッ チュッ	2 - 2
3	映画「コランボー」 お嬢さま誘かいさる...家政婦兼ボディガードの救出作戦	2 - 4
4	てかてかマスコット「ダルマ」 イベント(物品バザー)「きんぎょとヨーヨー」 生きのいいきんぎょとヨーヨーだよ。みんなできてよ!	玄 関 前 イベント広場 (22日)
5	てかてかマスコット「ウーパールーパーの花園」 僕はウーパールーパー。 恋人募集中 ヨロシク!	玄 関 前
6	映画「愛はバラバラ」 先生の花嫁探しプロジェクト! はたして先生の花嫁は見つかるか.....	2 - 11
7	食品バザー「喫茶だんだん」 なんなんだだんだん	合併教室 (21日)
8	物品バザー「Yes, I can」 よっしゃ いっちょ やったろかい 豊富な品ぞろえでまってるど!!	2 - 10 (22日)
9	てかてかマスコット「サッカーボール」 イベント(食品バザー)「青春という名の店」 かき氷などを売ります。みなさんぜひ一度来て下さい。	玄 関 前 イベント広場 (21日)
10	食品バザー「喫茶 ●」 かわいいバニーボーイのスペシャルサービス..... ウフフ	地学講義室 (22日)
11	てかてかマスコット「オニガワラゴンゾウ」 じょうだんじゃないよ!	玄 関 前
12	てかてかマスコット「シンデレラの城」 幼い時夢見たシンデレラの城が再びメルヘンの 世界にさそうかも。	玄 関 前

3) 教育的なプログラムから

文化祭は楽しいものであってよいであろうが、まじめな文化祭もひとつのいき方である

う。そうした学習型の文化祭の事例を2校紹介しておく。後者は担任がコミットしている形として興味深かった。

愛知県立中村高校

クラスゼミナール

101 高校生のありかたについて

高校は中学校の延長ではない！
とか、最近の高校生の言動について広く意見を集める。
飲酒事件が中心にはならない。

102 将来どんな職業が得をするか!!

現在ある職業の中で近い未来どんな物が発展していくだろうか。
例えば現在バイオテクノロジーの関係で農業関係に人気が出た。そういった人気がある職業はやはり得をするのではないか。また現在人気のない職業が将来は変わるかもしれない。そういったものをピックアップし、話し合う。

103 理想の教師像

理想の教師像を追い求める。
一般の人の意見を集め、クラスでそれを参考にし、討論し合う。

104 昔のおもちゃと今のおもちゃ

- ファミコンなど現代社会にはびこるコンピューターゲームとブリキのおもちゃとの比較。
- 昔の遊びと今の遊びとの比較。

等

105 各教科の先生について

まず、ゼミの前に、先生方とクラスの生徒にアンケートをとっておく。それを集計した用紙を生徒に当日、渡して、それについて討論を進める。設問の内容は、このクラスの長・短所や先生の授業に対して、期待していること…などなど。その問題を克服していくために、どうしていくために、どうしていくか、そんなことを話し合っていく。

106 男と女 どちらが得か

男と女 あなたはどちらが得だと思いますか。普段、生活していて不思議に思うことはありませんか。きっと“不公平だ”とか“うらやましいなあ”とかいろいろあるのではないのでしょうか。こんな疑問に106が独断と偏見、真実と本音で激しい論争をくりひろげます。

107 About Death

老若男女、誰も避けることのできない死を多面的に見つめ、有限な人生を強く意識し自己の充実を必然的に計ることができるよう青春の多感な感性に呼びかける。

全体参加対話会(1・2年生)

6日 9:30~10:30

(責任者 中澤 良恵 3年4組)

「40年前の青春」

池長 正道校長先生

物あくまで豊かな、百年に近い自らの人生を見通せる安定した時代。その中に生きる新人類達に強風怒涛時代の日本を駆け抜けた一人の男が、その青春を語る。

「中国での書展」

柴山 抱海先生

今夏7・8月、中国の北京と河北省の石家荘で私の書展を開催して来ました。書の母国での話をいろいろとしたいと思います。

「部活動と私」

井尻 昭先生

部活動をふり返ってみて得たもの……。

「アウトドアライフのすすめ」

谷口 肇先生

海はよぶ、山はよぶ！ 日常性からの断絶と人間性の回復を求めてアウトドアへ！ 手作りのキャンピングカーに夢をのせて、手作りの自分の世界を作ろう！

「無題雑話」

青木 節也先生

十年一日の如くでもあり、多事多端でもあった35才と3ヶ月と9日をふり返って心に淀みつ浮びつするものを語るもおかしーとなればよいが……。

「世界よもやま話」

西原 勲先生

世界各地のめずらしい話やおもしろい話をあつめる。

「草木で染めてみませんか」

下田 登志江先生

私達の身边に生えている草木はそれぞれの色を

もっています。鍋でぐつぐつ煮ることでその色を取り出し布を染めてみませんか。

「雑談」

鈴木 興一先生

とりとめのない雑談になると思いますが、参加者の皆さんの質問に答えながら進めていきたいと思っています。

「10年前のアイドル歌手達」

松本 憲幸先生

天地真理、浅田美代子、フィンガー5、麻丘めぐみ、城みちる、あいざき進也……。君達は知っていますか？ 歌を交えながら話をします。

「常識はずれの数学」

石黒 昭二先生

生徒諸君の常識からはちとはずれているような数学を虚実とりまぜて紹介したい。常識はずれの数学ならぬ数学教師の話になるかもしれぬ。

「36才の自分史」

谷口 隆秋先生

36年の自分の歴史を振り返り、家族・学校・教育・平和・ポリアンナの世界etc.について語りつつ、現在のいびつな自分の形成過程を考えてみたい。

「文学に見る人間像等について」

森本 京子先生

真面目な話のあとは「質問コーナー」でごゆっくりとおくつろぎ下さい。東高祭の品格を失わない程度にお答え致します。

「高校生気質今昔」

雨河 一就先生

この20年余の教員生活から見た高校生諸君の生活と思想の変わった所と、変わらない所を考え、若者の生活と行動について話し合おう。

第 1 日

クラス対抗仮装パレード

1-A

**幻想の世界に住む
生きものたち。**

まわりをよく見るとここは、私たちの
すんでいる世界では、なかった。
そう、ここは、あなたのしらない幻想
の世界なのです。我が1-Aがいろい
ろな生き物に姿をかえます。上富良野
はもう "Fantastic world"

1-B

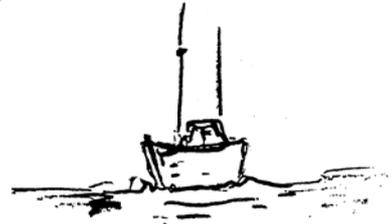
We are the World!

戦争の多い現在、世界が一つにな
ることを願う私達1-Bは地球のよ
うに心が丸くなって平和な世界をつ
くる一人として生きていきたいもの
である。.....

1-C

天国と地獄

私たち人間が最後に行きつくのは、天
国か地獄。天使になるか、悪魔になる
かは、あなたの心がけしだいです。と
ころであなたは、どちらになりますか？
天使と悪魔があなたをおむかえにあ
がります。いつおむかえがやって来る
のですか？



2-A

童話の世界

私達2年A組は子供の頃よく聞かさ
れた絵本をもとに、童話の中からたく
さんのヒーローたちを登場させます。
皆さんを2年A組のドリームランドへ、
ご招待します。

2-B

世界の物語

誰れもが一度はあこがれた、物語の
主人公やその仲間たちが、今、あな
たの前に現われる。シンデレラ、桃
太郎、かぐや姫、赤ずきんちゃん...
.....ファンタスティックな世界
へあなたをご招待!

「仮装 別紙3」 NO. 1

① 各クラス4名 (男2名・女2名)

この4名は、クラスの仮装制作の専属である。他の分掌の仕事にはかかわらず、ひたすら仮装制作に、クラス利益の為集中する。

男子は、はりぼて、女子は衣装、その他小物制作に当たると良い。

② 準備

- ① クラス仮装テーマ (7月16日)
- ② テーマに基づき、はりぼて、人間の隊列配置など構想をねりクラスに下す。
- ③ 舗導車の手配・クラス援助者 (他の分掌の仕事についている) 依頼、道具の確保・管理など。
- ④ 仕事分担 (4人 + 援助者)
- ⑤ 計画を綿密につくる。
- ⑥ その他

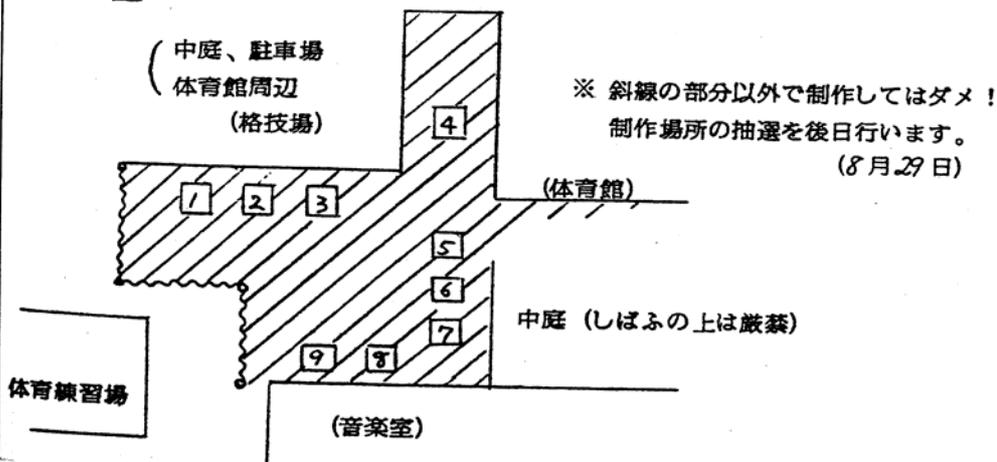
③ 制作期間

- ① 9月1日～6日まで (18時30分まで)
- ② 9月7日 (日) 17時30分まで
- ③ 9月8日 (月)～12日 (金) 5・6校時カット

18時30分以降、残る時は残留届を担任より提出し、許可を得る。

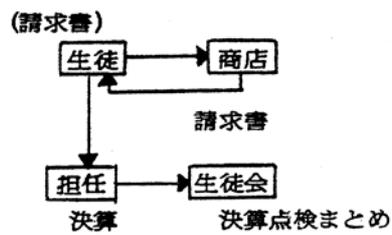
6時以降制作する者は、必ず父母に連絡をとり、学校に心配の電話等のこないよう、責任をもつべし。

④ 制作場所



5 作品費用

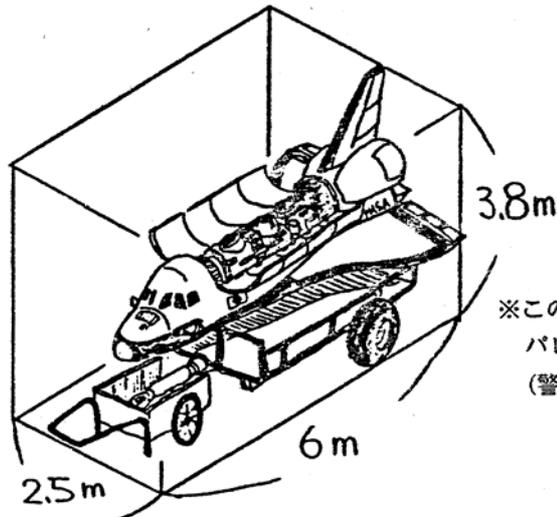
生徒会より、1クラス30000円の援助金（昨年より11000円アップ）
 極端に多額の費用を使ったクラスは入賞にマイナスとなる。良識を越えない
 ように。



(支払い)

上校祭終了後、担任が、中心となり
 各商店に、すみやかに、まちがいの
 ないように、支払う。領収書をまと
 め、決算をクラスごとに出し、生徒
 会に提出。

6 作品 道路交通法を守り作制



※この規定を破った場合は、
 パレードに参加できません。
 (警察より差し止めになります)

7 賞



トロフィー・賞状・優勝旗など

※仮装の特別賞の種類については、後日伝達
 (追加案にて)

5) 学校の独自性を生かして

その他、学校の特色を生かした事例を3つほど紹介しておく。下の小倉商業高校は商業学校らしいバザーの企画に注目してほしい。「小倉商事」という発想が興味深い。弘前高校のねぶたも、地域性に根ざした行事として、

地域に根をおろした高校作りに役立つ。

さらに、鈴蘭台高校の事例は、文化祭のテーマがとかくテーマ倒れしがちなのに、テーマで全体をとおした企画として紹介した。全体が見事なまでにアメリカで貫かれており、こうした文化祭も、ひとつの理想形であろう。

福岡県立小倉商業高校

'86 倉商祭

11-15④・16⑤

福岡県立小倉商業高等学校・創立70周年記念文化祭。テーマ「青春の躍進」—今、倉商Changin'—

- 井論大会 ● 合唱 ● カラオケ大会 ● プラスバンド演奏 ● バンド演奏 ● 応援部演武 ● 文化部展示
- スライドレコードコンサート ● 映画「しのよの明日」 ● ビデオ「三国志」 ● 放送コンテスト
- 1年・紫水の襪れ履—本校70年の歩み— ● 2年・韓国部 ● 3年・倉商バザール

内容はもりだくさんです。ぜひ御来校下さい。小倉商業高等学校・生徒会

倉商

バザール

11月15日(土) 10:00~14:30 会議室及び野外テント

16日(日) 9:30~12:00

私たち3年生は、今回みんなで出資して小倉商業株式会社(資本金200,000円)を設立し、食料品から海産物、野菜果物、ケーキパン、家庭日用雑貨などを問屋より仕入れました。人件費ゼロです。から、市価より安く地域の困窮に販売いたします。御近所おさそいあわせのうえ、御来校下さい。

「倉商バザール」実行委員会 小倉商業株式会社

本焼魚 1,000円

芋子明太子 120g ¥300

農業高産道野菜 大特価

100円ケーキ 100個

スバリお買得!!

1リットル(200g) 200円 他のもりだくさん 通販価格280円

協賛会社

- オーエンオーバーカー (ケーキ・パン)
- 鳥居商事 (株) (食料品)
- (株)友和 (家庭用品)
- 和貴商事 (株) (かまぼこ・ちくわ)
- (株)伊東商事 (海産物)

- (海)C&Cコグツ (食料品)
- 大平紙藝 (株) (紙製品)
- (株)茅川北九州本店 (日用雑貨)
- 福岡県立豊前農業高等学校 (野菜)
- 麻生先生 (野菜・果物)

りのと徒

す)

伝達 (にて)

1日目

開祭式・ねぶた運行

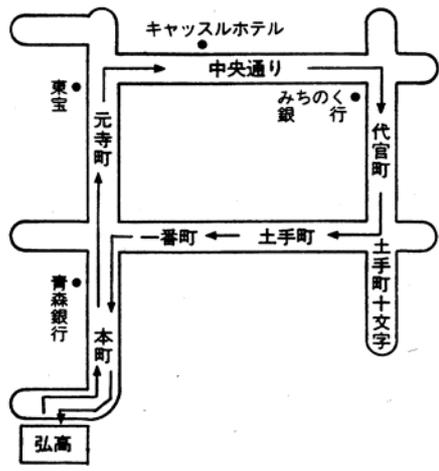
開祭式 8:30~9:15
第一体育館

- 1) 開式のことば
 - 2) 開祭宣言
 - 3) 弘高祭テーマソング
 - 4) 学校長のことば
 - 5) 執行委員長ののことば
 - 6) 校歌
 - 7) 閉式のことば
- ◎なお、歌はすべて斉唱です。

ねぶた運行 18:00~20:30
市内

- <準備完了> 14:00
- <写真撮影(3年)・観覧・整列> 15:00~
- <出発> 18:00
- <運行順序>
先導→灯籠→1年→2年→3年
の順で運行
- <全ねぶた帰還> 20:30

<運行経路>



H	R	ねぶた題名
11		三国志
12		武蔵坊弁慶奮戦
13		弁慶と牛若丸
14		素盞鳴尊『八岐大蛇退治』
15		三国志
16		羅生門
17		日本昔話
18		頼光と保輔
21		平将門
22		水滸伝
23		三国志 (fight for love)
24		神武竜征
25		鬨龍吠虎
26		武蔵坊弁慶 五条大橋の戦い
27		公暁
28		三国志
31		頼光と保輔
32		武蔵坊弁慶
33		平家物語 浄妙房橋合戦
34		頼朝宗徒の功名
35		水滸伝
36		弁慶と牛若丸
37		蝦夷征伐 (坂上田村麻呂)
38		項羽の馬投

弘前の街に夏の到来を告げる弘高ねぶた

この弘前高校のねぶたは、昭和28年学校創立70周年記念の前夜祭として行われたという。あくまでも記念行事として行われたのだが、当時の生徒の強い要望で恒例化された。男子生徒の有志だけで続けられていたが、どうしても参加したい女子生徒の中には、男装してまで参加したというエピソードもあるそうだ。

その後、昭和38年より各HR毎に1台の山車という現在の形になった。その変遷とともに、ねぶた自体にも変遷があった。当初は社会風刺的なものが多く、時の総理大臣などはよくモデルになった。また受験戦争の悲惨さを訴えたものなのか、教科書に押し潰されている弘高生などがあったという。

それからは、アニメの主人公などが目立つようになり、社会風刺は影をひそめた。このあたりに、伝統の継承を重視する弘前高生とは言え、全国的な高校生の意識変化と同じ軌跡を描いていることがわかる。ちなみに今年のねぶた題名を別表一1（〔注〕前頁右表に掲載）にしるした。再び伝統的題名が増えているようだ。

こうやって市内を運行するねぶた24台、いずれも力作で、大きさ、美しさ、精巧さ、どれをとっても高校生の作ったものとは思えない見事な出来映えであった。それだけのものを作るには、やはり並の努力ではできない。ここでその製作の過程を紹介しよう。

6月下旬に各HRより役員が選出され、その役員を中心としてねぶたの題目を検討し、その結果を設計図とともに、生徒自治会（生徒会ではなく、自治の2文字が入るところにも、弘前高校の生徒の自主性を重んじる校風がうかがえる）実行委員会に提出。そして1学期の期末試験終了とともに本格的な作業となる。

作業時間は、朝5時から8時までと授業終了後18時30分まで（この間は授業は午前中で終了）、その後清掃して19時には全員下校。日曜日は7時から18時30分、19時下校となっている。

また、作業場所は、“ねぶた小屋”と呼ばれるシートで屋根をつけた作業場を中庭に設け、更に各HR、体育館となっている。

ステージの部

——演技——

1. 吹奏楽“アメリカ” 吹奏楽部
(9:00~9:20)
2. クラス演技“ウェストサイド物語” 2年7組
(9:30~10:00)
3. 演劇“ The ghost sisters story ” 演劇部
(10:10~10:55)
4. 合唱“女声合唱 小女のいる画集” 他 音楽部
(11:05~11:35)
5. クラス演技“ウェストサイド物語” 3年4組
(11:45~12:05)

ステージ内容

——舞台ステージ——

- 吹奏楽部——今年のテーマ「アメリカ」にちなんだ曲ばかりを集めてみました。シンフォニア・ノビリッシマ、ロックンロールメドレー他。
- 2年7組——世界的にヒットした映画で、アメリカの社会問題をリズムカルにダンスをふまえたミュージカルで演技します。
- 演劇部——誰も住んでいない空き家で、マイクとジョンは人間に戻りたがっている2人の幽霊姉妹に出会うが……。
- 音楽部——私達は苦勞して編曲し、自分達のハーモニーを作り出しました。一生懸命歌うので、是非見て下さい。
- 3年4組——2つの対立するグループの中で、男と女が恋をする。しかし、悲しくも男性は死んでしまう運命にあう。
- 2年2組——男子生徒の投票によって選ばれた美しい、鈴高生女子の中から、女神とも呼べる真の美しい女性を選びます。
- フォーク部——2人、もしくは1人でステージへあがり、マイクを使って、ギターをひきながら唄を歌います。

展 示 内 容

- 3年3組——1950年代を生きたアメリカの若者たちの時代へ、タイムスリップしてみよう！
- 3年7組——西部開拓時代のアメリカのバーの様子を再現し、その時の雰囲気を出していろいろな催し物を披露します。
- 2年6組——アメリカのHORROR-MOVIEのMAKE UPの実演。鳥取館を無事通過できた人には景品を進呈します。
- 2年8組——自由を求めて捕虜達の大脱出作戦が展開する。映画はついに限界をこえた！大アクションコメディ。ついに公開！

模 擬 店 の 部

- 3年1組——ホワイト♡タイム
うっとうしい梅雨のひとつき“ホワイト♡タイム”でさわやかな時間、過ごしてみませんか？！
- 3年8組——大リーグに挑戦
バッティングセンターを作り、アメリカ大リーグの雰囲気を楽しく演出する。
- 3年9組——アイスの館（アイスクリーム & かき氷）
冷たい物なら何でもおまかせ、意表をついた衣装で店員が待っています。
あたりクジもあるよ。